

防災 バリアフリー マップ2024



企画・編集・発行：
NPO法人リープ・ウィズ・ドリーム
発行日：令和7年2月（第1版）

◆水害ハザードマップ・防災関係資料提供：
文京区

◆協力：
大塚上町会、大塚仲町会、
大塚四丁目協力会、氷川下町会
民生児童委員
東京都ボランティア・市民活動センター
法政大学、東洋大学、拓殖大学
社会福祉法人フロンティア文京くすのきの郷
NPO法人日本防災環境

◆講習会会場提供：
文京くすのきの郷、氷川下つくさ荘

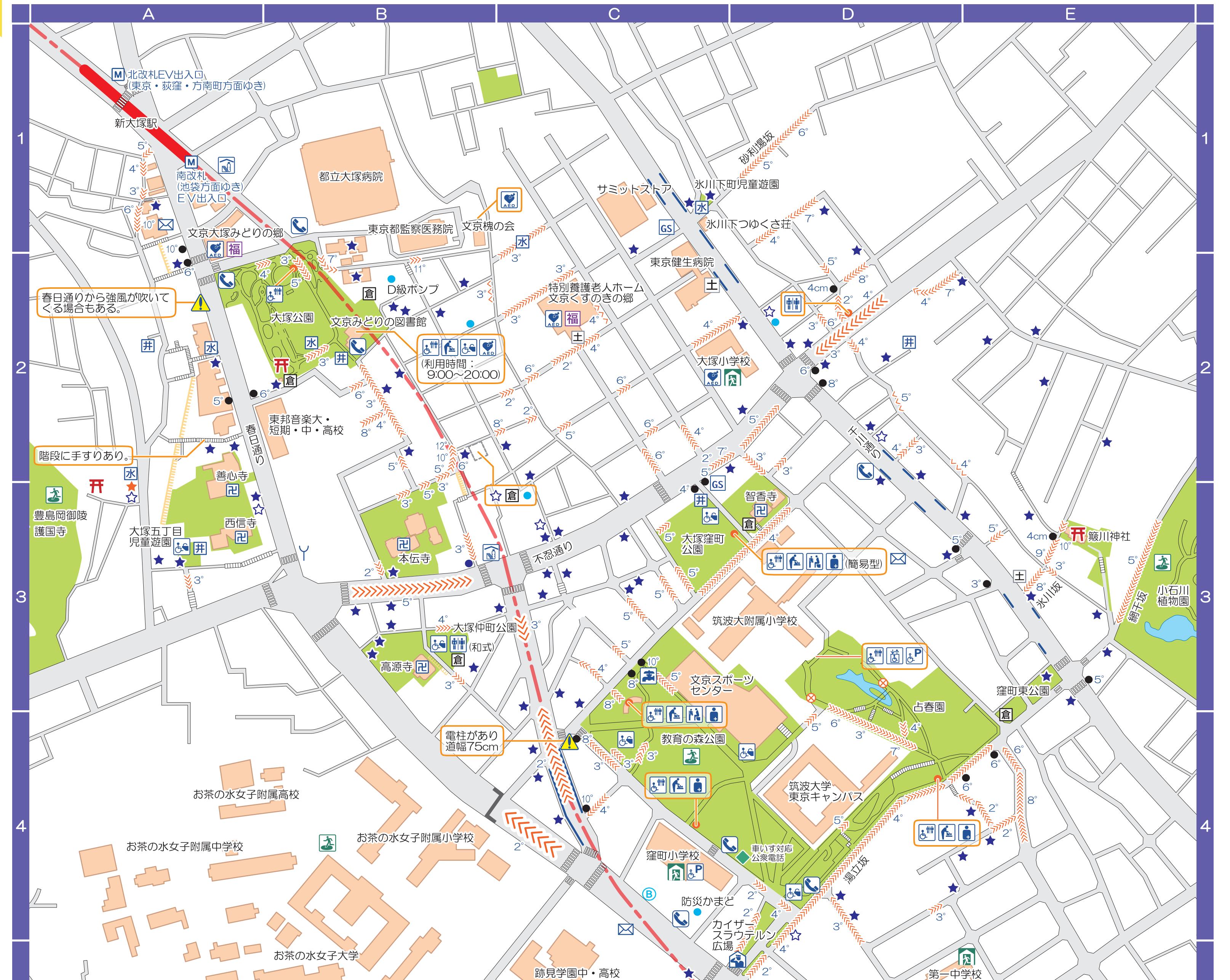
◆免責事項
文京区およびNPO法人リープ・ウィズ・ドリームは、利用者が当図の記載情報を利用して行う一切の行為について何ら責任を負うものではありません。

◆令和6年10月から12月までの防災・バリアフリーまち歩き調査他の結果に基づいて作成しておりますので、実際の道路状況等が変化している場合があります。
安全については各自の責任の下、十分に気を付けてまち歩きをお楽しみ下さい。

※この地図は、NPO法人リープ・
ウィズ・ドリームのホームページ
からもご利用頂けます。
(<https://www.tokyo/>)

※お問い合わせ先
・NPO法人 リープ・ウィズ・ドリーム
(E-mail : machi-aruki-chiyoda@clubneco.com)
ホームページ : <https://lwd.tokyo/>)

◆このマップは、文京区社会福祉協議会Bチャ
レ（提案公募型協働事業）による助成を受けて
作成されました。



◆震災時の避難所 ※区内に32箇所あります。
・窪町小学校（大塚3-2-3）対象町会：大塚窪町会、氷川下町会
・大塚小学校（大塚4-1-7）対象町会：大塚上辻町会、大塚仲町会、大塚四丁目協力会
◆水害時・土砂災害時の避難所 ※区内に13箇所あります。
※地震時の避難所とは異なる場合があります。
※町会・自治会による割り振りはありません。
・林町小学校（千石2-36-3）、第一中学校（小石川5-8-9）
・音羽中学校（大塚1-9-24）、青柳小学校（大塚5-40-18）
◆緊急避難場所（一時的に火災等から身を守る避難場所） ※区内7箇所にあります。
・お茶の水女子大学一帯、教育の森公園一帯（17町会）
・護国寺一帯（9町会）
・小石川植物園（15町会）

※避難場所や緊急避難場所は区のホームページや防災ガイドなどで確認できます。

家族の集合場所や避難所、緊急避難場所を書き出しておきましょう。

家族の集合場所
避難所
緊急避難場所

自宅が安全なら在宅避難が基本です。

文京区防災地図・各種ハザードマップを
日頃から確認しましょう。

水害ハザードマップ

洪水ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ

地震防災マップ（建物倒壊危険度）

防災地図

- ※地図にはすべての施設・設備を掲載しているものではありません。ご利用の際にはご確認されることをお勧め致します。
- ◆バリアフリー関係
- 車いす使用者対応トイレ併設
 - おむつ替えシート
 - ベビーチェア
 - オストメイト
 - 車いす使用者対応エレベーター
 - 車いす使用者対応駐車スペース
 - 車いす使用者対応水飲み場
 - 路上駐車可能区間
 - スロープ
 - ベビーケアルーム・授乳室
 - 5°以上の傾斜あり
(●は数値。例：7°)
 - 5cm以上の段差あり
(●は数値。例：7cm)
 - 坂（勾配あり）
- ※傾斜角度については、測定する位置により、表記した数値と異なる場合がありますので、目安とお考えください。
- ◆防災関係
- 土のうステーション
 - 緊急避難場所 倉 防災資器材格納庫
 - スタンドパイプ
 - 消火器
 - 大型消火器
 - 水 防火水槽
- ◆共通
- コンビニエンスストア ※出入口がフラットかスロープがある。
 - 公衆電話
 - 階段
 - AED設置（区公共施設のみ表示）
 - 文京区コミュニティバス B-くるバス停
 - 注意
 - 電柱があり道幅75cm
 - 神社
 - 仏閣
 - 警察署・交番
 - 郵便局
 - 避難所
 - 災害時給水ステーション
 - 井戸
 - ガソリンスタンド
 - 崖

土のうステーションの利用方法

水防用土のう置場の利用方法



① 土のうステーションカバーの端を持つ。マジックテープでとまっていますので剥がすことができます。



② カバーの前が開くようになっているので持ち上げる。



③ 上まで持ち上げると取り外し可能なバーがあるのでそれを外し、さらにカバーを持ち上げる。

バー設置位置



④ 土のうを取り出す。使用後はカバーを元のように閉めてください。
(使用済みの土のうを返却する際は、カバーを外し、積んである土のうの上に重ねてください。後日、区の職員が新しいものと交換します。)

■地震発生! そのときには

○避難するとき

「自宅が無事な場合は避難する必要はありません(在宅避難)」

自宅が倒壊などの被害を受けたり、そのおそれがある場合は、指定の避難所へ避難し、延焼拡大などで避難所が危険な状況の場合は、緊急避難場所へ避難します。

自宅での生活が継続できる状況であれば、「在宅避難」をします。

- 避難所(区立小・中学校等33か所)
非常食や毛布等が被災者のために備蓄されており、一時的に生活ができる施設です。
※避難所一覧はp.18
- 緊急避難場所(7か所)
一時に火災等から身を守る広い場所です。
- 福祉避難所(26か所)
避難所生活が困難な要配慮者の方に対し、避難所において十分な支援ができない場合、開設される施設です。
- 妊産婦・乳児救護所(4か所)
妊婦や0歳児及びその母親に必要な食糧の配給、情報の提供等を行う施設です。

文京区の避難方式(基本的な避難のパターン)

```
graph LR
    A[自宅が倒壊・焼失した場合等  
又はそのおそれのある場合] -- 区民等 --> B[避難所  
区立小・中学校等]
    B -- "避難所生活が困難な  
要配慮者の方" --> C[福祉避難所]
    C -- "二次的に開設" --> D[福祉避難所]
    B -- "妊婦・  
0歳児及び  
その母親" --> E[妊産婦・  
乳児救護所]
    E -- "火災による避難指示等" --> F[緊急避難場所]
    E -- "火災による避難指示等" --> G[緊急避難場所]
    E -- "火災による避難指示等" --> H[緊急避難場所]
    E -- "火災による避難指示等" --> I[緊急避難場所]
    E -- "火災による避難指示等" --> J[緊急避難場所]
    E -- "火災による避難指示等" --> K[緊急避難場所]
```

○避難のときには

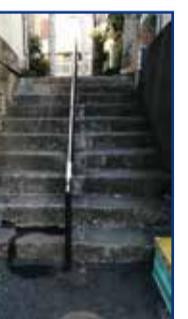
- 高齢者や障害者などの避難にはみんなで協力する。
- 家から離れるときは、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めて、二次災害の発生を防止する。
(阪神・淡路大震災のとき、電気が元で多くの火災が発生しました。)
- 自動車は絶対に使用しない。

ヘルメット等で頭を保護
非常持ち出し品はリュックサックで避難に支障のない程度の量
化繊より木綿製品を着用
長袖・長ズボンなど動きやすい服装
軍手を着用
靴は底の厚い、履き慣れた物

まちのバリアフリー施設を確認してみよう



坂道や階段にある手すり



車いすのまま使用できる公衆電話



バリアフリー調査の様子

身の回りにある防災設備を確認してみましょう



土のうステーション

大雨や台風等の浸水被害に備えて、地域住民が自由に利用できる土のう置き場



ひなんじゅうどう そーらー とう
避難所誘導ソーラー灯
太陽光(ソーラー)で発電し、停電時や夜間の避難所の視認性を高める照明器具



ぼうさいきょうていひ
防災協定井戸
災害時に区民等の生活用水として井戸水を提供することに所有者が承諾した井戸



仮設トイレの設置可能な
マンホール

トイレの設置は区の職員が行うため、マンホールのふたは開けない(家のトイレが使えない場合は、携帯用トイレや区が設置したトイレを利用する)



おおがたしょくか
大型消火器とスタンドパイプ
スタンドパイプ: 消火栓や排水栓に直接結合して放水する消火器具で、一般的な消火器よりも消火能力が高い



こうしゅでんわ ひょうじ
公衆電話内の表示
110番(事件・事故) 119番(火事・救急)の他にも171番
災害用伝言ダイヤルの番号も表示されている



ぼうかすいそう
防火水槽
消防活動に必要な水を貯めておくための貯水設備



災害時給水ステーション: 大地震などにより断水した場合に飲料水を配るところ

大塚小学校避難所運営協議会と氷川下町会(協力)

大塚小学校避難所運営協議会は大塚仲町会、大塚上辻町会、大塚四丁目協力会の3町会と大塚小学校、PTA、文京区防災課で組織されています。

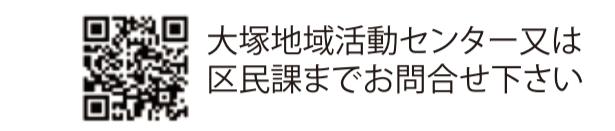
避難所運営協議会とは: 災害発生時に避難所を開設・運営する為に、設立された組織です。平時から避難所の運営について話し合ったり、避難所運営訓練などをおこなっています。



避難所(区立小・中学校等)
別対象町会一覧表

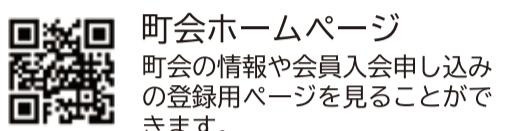
町会・自治会について: 町会等の活動内容や加入に関するお問合せは以下をご確認下さい。

大塚上辻町会



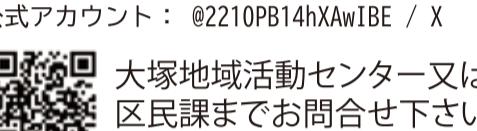
大塚地域活動センター又は
区民課までお問合せ下さい

大塚仲町会



町会ホームページ
町会の情報や会員入会申し込みの登録用ページを見る事ができます。

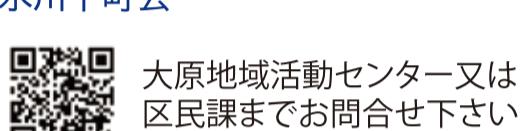
大塚四丁目協力会



公式アカウント: @2210PB14hXAwIBE / X

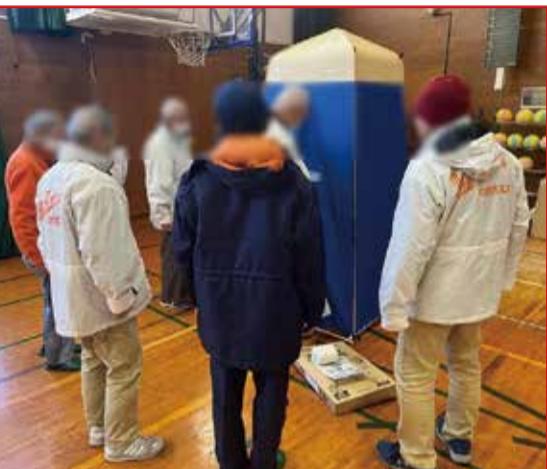
大塚地域活動センター又は
区民課までお問合せ下さい

氷川下町会



大原地域活動センター又は
区民課までお問合せ下さい

大塚小学校避難所運営訓練の様子



講習会の様子



防災・バリアフリーマップを作成しよう

防災とバリアフリーの視点でまちを歩いて調査する

令和6年度 講習会・まち歩き調査日程

第1回

地域防災について学ぼう

10月6日(日) 10:00~12:00

防災アドバイザーによる講習会
みんなでまち歩き調査をする地域
や地図に載せる情報を決める

講師：上倉秀之氏

(NPO法人日本防災環境)

第2回

防災まち歩き調査

10月27日(日) 10:00~12:00

防災視点でのまち歩き調査
まちの防災施設や設備などを調べる

ファシリテーター：加納佑一氏

(東京ボランティア・市民活動センター)

第3回

バリアフリーまち歩き調査

11月17(日) 10:00~12:00

バリアフリーの視点でまち歩き調査
まちにある坂の傾斜や段差、バリア
フリー施設等を調べる

進行：金子久美子

(NPO法人リープ・ウィズ・ドリーム)

第4回

調査まとめ

12月7日(土) 10:00~12:00

防災まち歩き調査とバリアフリー
まち歩き調査の情報のまとめ
地図の形を作る

進行：金子久美子

(NPO法人リープ・ウィズ・ドリーム)

対象

地図掲載地区町会員
文京区在住・在学・在勤 防災やバリアフリーに興味のある方

定員

各回20名(応募多数の場合は抽選)

会場

第1回：氷川下つゆくさ荘(文京区千石3-3-7)
第2回以降：文京くすのきの郷(文京区大塚4-18-1)

会費

無料

申込・お問い合わせ先 NPO法人リープ・ウィズ・ドリーム



右記のお問い合わせフォームに、必要事項(氏名、所属、
電話番号、メールアドレス、参加可能な日付)を入力下さい。

申し込み締め切り：各回開催1週間前迄(各回のみの参加も可能)

この事業は、文京区社会福祉協議会 Bチャレ(提案公募型事業)の助成金で実施しています。

令和6年度Bチャレ 新たなつながり部門採択事業

防災ポーチ作りを体験してみませんか？

防災 バリアフリーマップ お披露目会 &防災ポーチ作り

ぜひ親子で参加しよう！

大塚上辻町会・大塚四丁目協力会・大塚仲町町会・氷川下町会の
皆さまと一緒に「防災・バリアフリーマップ」を作成しました。

■ 地図のお披露目と配布

町内の防災設備や、バリアフリー情報が載っている地図です。

地図を見ながら、まちの防災やバリアフリーについて考えましょう。

■ 「防災ポーチ」を作ってみよう

防災ポーチとは、外出先で災害が発生した時に役立つアイテムをまとめたものです。

人によって必要なものは違います。自分にあったアイテムを入れてみましょう。

2025.
2/9

参加費

無料（受付時に行事保険加入のため
氏名を控えさせていただきます）

日
定員

各回20名

* 小学生以下は保護者同伴
* 応募多数の場合は抽選となります

場所

氷川下つゆくさ荘

(東京都文京区千石3-3-7)

午前の部：10:00-11:30
午後の部：13:30-15:00
(各回20分前より受付開始)

【申し込み・お問合せ先】

NPO法人リーブ・ウィズ・ドリーム

右側の申し込みQRコードを読み取っていただき、お名前・連絡先電話番号、
お問い合わせ内容に参加ご希望の部（午前か午後）、参加人数をご記入下さい♪



※応募締め切り：2025年2月3日（月）



文京区社会福祉協議会フミコム Bチャレ「新たなつながり部門」採択事業
「防災バリアフリーマップ」を作成しよう



令和6年10月6日(日)10:00~12:00
講習会場)氷川下つゆくさ荘
参加者)12名

NPO法人日本防災環境 上倉秀之氏 による講習の後、町会毎にグループワークをおこないました。

グループワーク1 災害がおこるとどんな困りごとがありますか

大塚仲町町会 大塚四丁目協力会

- ・道路の通行止めの情報はどこが発信するのか
- ・トイレ、水道、電気が止まつたら
- ・火災(消火も含め) ・避難所が小さい、少ない
- ・高齢者が多い ・古い家もまだ多い
- ・トイレ、電気、家庭ゴミ、ひも
- ・電気、ガスが止まるか ・物が落ちないか(倒れないか)
- ・停電、水道が止まる、集合住宅の自動ドアが開かない
- ・家族同士の連絡方法 ・火災がおきたとき
- ・上下水道→飲み水、食事用、トイレ
- ・情報収集方法 →TVが見られない、区からの情報は?



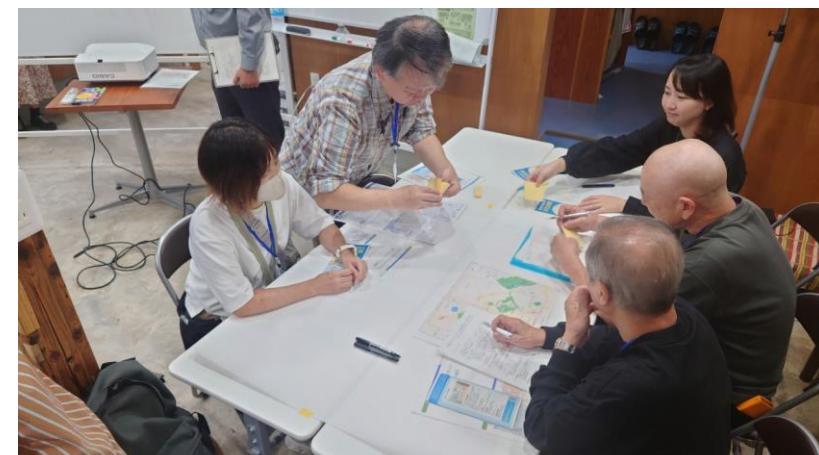
大塚上辻町会

- ・トイレの心配
- ・エレベーター
- ・地震が心配 人的被害、防犯
- ・住宅安全
- ・水の心配
- ・マンションの住人のことがわからない



氷川下町会

- ・水道水がとまる
- ・災害時に必要な物は？か
- ・自宅防犯
- ・ペットボトル水を用意しているが何時までに交換するか
- ・家族の安否確認
- ・マンションの5Fに住んでいるので電気が止まると
- ・家具などをどうしたらよいか？
- ・災害時に持っていく物がわからない
- ・ペットが逃げる → ペットの避難
- ・災害時に灯りがない
- ・子どもの迎えに学校に行くか
- ・家族の常備薬確認
- ・災害時に用意してほしいものは？
- ・マンションの1階なので大雨の時、ベランダに水がたまつたことがあるので心配
- ・知人の安否確認
- ・近所の高齢者の安否確認
- ・マンション内の連絡
- ・コンビニはやっているのか



グループワーク2 1の解決方法について考えてみよう

大塚仲町町会 大塚四丁目協力会

- ・水を確保するための手段とその情報
- ・集合住宅の管理会社との連携方法
- ・区からの情報発信、受信方法



大塚上辻町会

- ・拡声器
- ・紙媒体
- ・エリア情報
- ・ラジオ
- ・町会掲示板 貼りだす
- ・マンションの入口



氷川下町会

- ・段差の確認
- ・灯油を欲しい時はどこでもらえるのか
- ・年令が高いので足腰はいたえておきたいと思う
- ・水道水が止まつたら → 水を用意しておく
- ・災害時は気持ちしっかり持って行動したい
- ・ガスが止められ時 → 家庭用ガスボンベを用意している
- ・電話ボックスはファミリーマート(大塚3-41-9)にあります
- ・水タンクの用意
- ・火災が今どこでおこっているのか
- ・災害時 → 例えば給水車がどこにくるのかの情報
- ・交通渋滞がどのへんで起こっているのか
- ・災害がおきないように願っています。
- ・トイレの各自用意



グループワーク3 地図に掲載したい情報について

大塚仲町町会 大塚四丁目協力会

- ・スタンドパイプ
- ・消化栓
- ・AED場所
- ・消火器
- ・大塚は公園は車いす通りにくい→車いすが通りやすい道
- ・町会備蓄倉庫
- ・電線の垂れ下がり
- ・だれでもトイレ
- ・公衆トイレ
- ・町会の倉庫

大塚上辻町会

- ・掲示板の場所
- ・井戸水
- ・マンホールトイレ
- ・消火器
- ・消化栓
- ・階段の急ぐあい
- ・車いす →迂回路確認
- ベビーカー
- ・町会の倉庫

氷川下町会

- ・病院の場所
- ・AEDがどこにあるか
- ・警察の場所
- ・スタンドパイプの場所
- ・避難所
- ・消火器の有る場所
- ・コンビニの場所
- ・井戸の確認



グループワーク4 まち歩き調査範囲について

大塚仲町町会 大塚四丁目協力会



大塚上辻町会



氷川下町会



第2回講習会では今回各班で話し合った
結果を反映した地図を持って、防災まち歩き調査をおこないます。

2024年度 文京区 「防災・バリアフリーマップを作成しよう」

第2回 防災まち歩き調査 振り返り

2024年10月27日(日)10時～12:00

会場:文京くすのきの郷

参加人数

大塚上辻町会:5名 大学生:2名 一般:1名

大塚四丁目町会:3名 大塚仲町町会:2名

氷川下町会:6名

林町小学校避難所運営協議会:2名

くすのきの郷:1名

計22名

特定非営利活動法人リーブ・ウィズ・ドリーム

講義: 防災まち歩き調査について

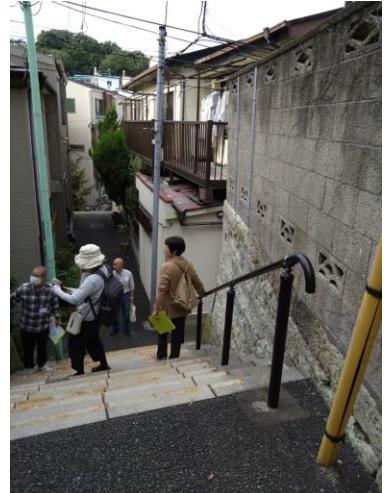
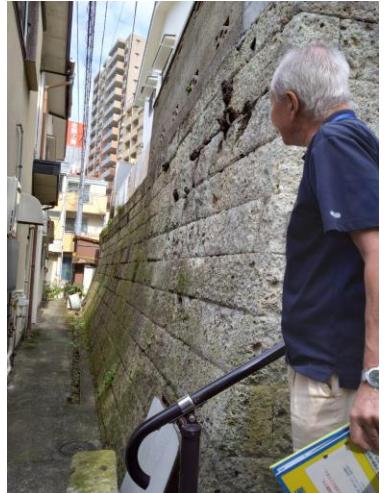
講師: 東京ボランティア・市民活動センター 加納佑一氏



講義の内容: 防災まちあるきとは、「まちあるき」の目的、「まちあるき」の効果、「まちあるき」のポイント等について……

防災視点でまち歩き調査をおこなっていると、危険な場所ばかり(まちの弱み)に目がいくことが多いけど、災害があっても残したい場所、まちの強みも探し得るのが大切だというお話を頂きました。

町会にわかれて防災まち歩き調査をおこないました。



地図情報のまとめと振り返り発表



振り返り

- ・こういった活動に初めて参加しましたが、今まで防災に対して関心がなかったため、初めて知ることや学びがとても多かったです。いざ災害の直面した時にすぐ動けるようこれからもこういった活動に参加し、関心を持っていきたいです。あと、楽しかったです！地域の方々と関わって。（氷川下 福田さん）
- ・消火器が多く配置されているのに今まで気づかなかった。歩いて見て勉強になりました。消火器のスタンドパイプの中身を見たのだが、使い方がわからないので。（氷川下 伊東さん）
- ・車いす使用の方の移動がとても困難になると感じました。（氷川下 四湯さん）
- ・いつも歩いているのに何も見ていなかったとしみじみ思っています。とても勉強になりました。
(氷川下:新井さん)
- ・今回初めて防災マップ作りに参加しましたが、普段意識せず歩いている所にも、防災設備があることに気がついた。町会の方に説明頂きながら、その地域の成り立ちなどもお聞きできて面白かった。様々な年齢の方が住む地域だが、急な階段が多く、避難時には少し危険かなど感じた。
(大塚上辻町会 岩田さん)
- ・もう少し詳しい地図に書き込みをした方がわかり易かったと思います。毎日歩いても気付かない事が多々ありました。ありがとうございました。（上辻町会 伊藤さん）
- ・久しぶり？（始めて）町会を細かく回ったが意外と知らない事が多かった、消火栓、消火器の設置が意外と多くホットした。大塚5～6丁目（坂下方面）には古い木造家屋と大谷石のくずれそうな場所が多かった。
(大塚上辻町会 佐藤さん)

- ・時間が少なかった。気のつかなかった所もありました。消火器のある所も気づかず。(大塚上辻町会 山下さん)
- ・朝7時ころから調査した方が、ゆっくり出来ました。(大塚上辻町会 荒井さん)
- ・あらためて町を歩き、防災に関して、見て普段気付かぬ事がたくさん有りました。この地図作りをきっかけに、災害時にこまらぬようにしたいと思う。(大塚四丁目協力会 藤井さん)
- ・土のう、ソーラーパネルなど、気にしていなかったところにいくつかの気づきがあった。自動販売機やGSが役立つことも知りました。マンホール、消化栓等の判別がいまひとつうまくできなかったです。(大塚四丁目協力会 片山さん)
- ・土のうステーションをめくった中を初めて見ました。(大塚四丁目協力会 片山さん)
- ・まとめの地図作りで気付いたこと

- 消化栓の配置が片寄っているので、配置を再検討する必要あり。(大塚四丁目協力会 為則さん)
- ・電柱、電線等の上を見た、たおれる方向は柱の反対側となる様である。消火器の有る所を見た。公園の出入口もいろいろ有る。土のうの有る事を初めてした。(大塚上辻町会 縣さん)
 - ・多くの事に気づきが有りました(井戸、貯水槽、多目的トイレ、土のう、四丁目の電柱、電線の多さとかいろいろ)。(大塚仲町町会 井口さん)
 - ・街中を歩きながら感じた事は災害時に住民をどこえ避難指示の徹底。(大塚仲町町会 徳武さん)
 - ・今日の結果の件、コピーして(地図)頂けるといいですね。(町会、氏名未記入)
 - ・思ったより消火設備が整っていることを初めて知った。自治会の人がいろいろ知っていておどろいた、残して欲しいもの・・文京区は治安が良くておだやかで暮らしやすい場所なので、その雰囲気は残しておきたい。(一般参加:野村さん)

・基本は地域と知ることと実感。木密地区は都内全般→ を地図に明記は？

（丸山町会・林町小学校避難所運営協議会 小田巻さん）

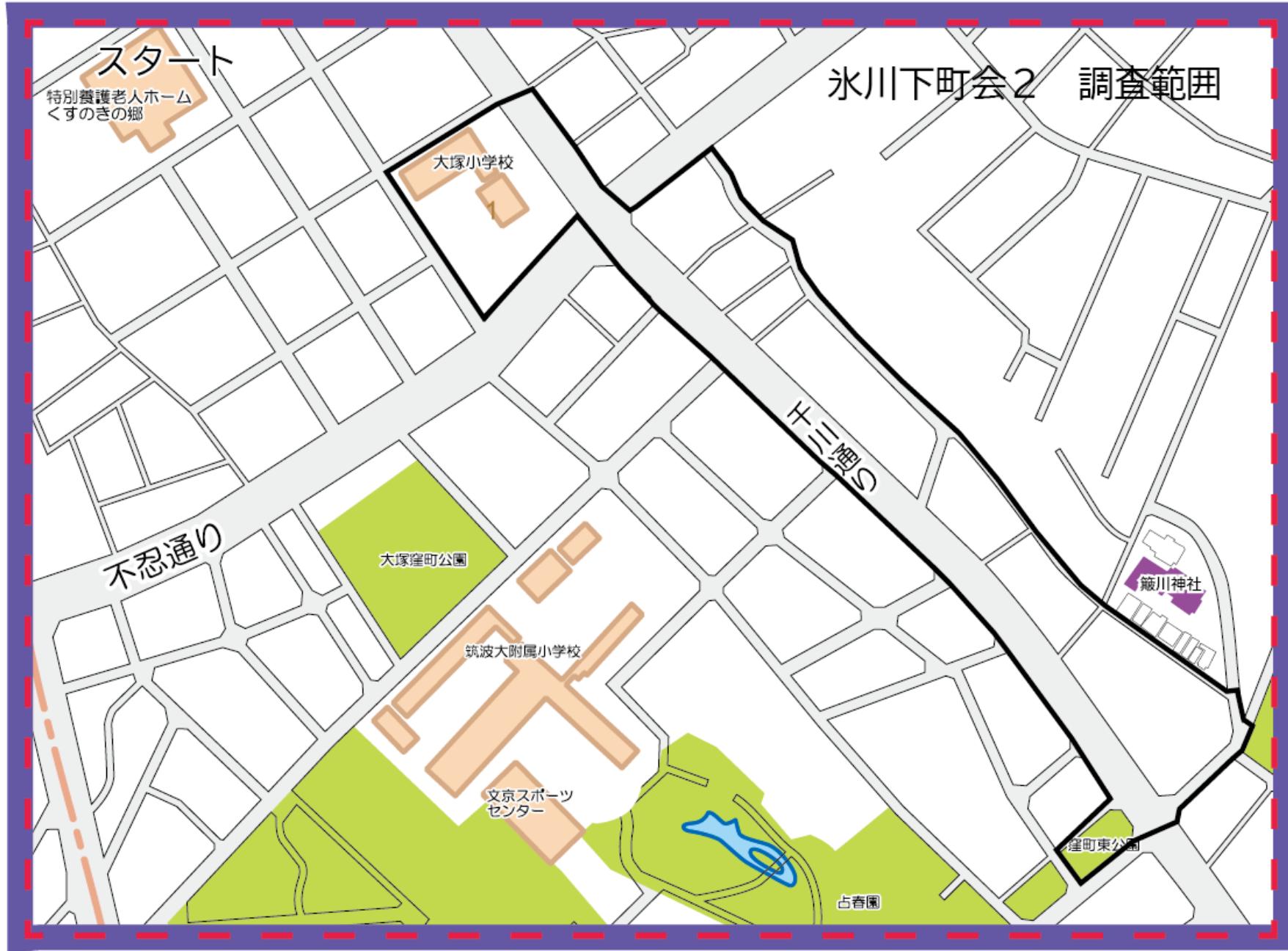
・新しい建物が多くそれほど危険を感じる場所は無いように感じたが、くすのきの郷周辺はせまい坂道が多く、大塚公園方面は上り坂や階段になっているところがあり、車いすでの避難は大変だと思いました。マンホールトイレや電柱のない場所は初めて知ることも多くありました。消火器はおもっていたより少ないと感じました。

（くすのきの郷 福澤さん）



大塚上辻町会1・大塚四丁目協力会 大塚仲町町会調査範囲





令和6年度 「防災・バリアフリーマップを作ろう」 第3回講習会振り返り

日時：令和6年11月17日午前10時～正午
会場：文京くすのきの郷1F会議室

バリアフリー まち歩き調査 講習会

まち歩き調査のための講習会をおこないました。



調査の様子





各班 振り返り

1班 (リーブ・ウィズ・ドリーム:道林担当)

大塚仲町町会

縣さん

・傾斜測定（道路）をおこなった。2. 公園のトイレ（男、女、子ども用）を見た。・公衆電話が1箇所も無し（あたりまえ？）

井口さん

車いすの経験が初めてで、段差や坂道の押し方が勉強になりました。

大塚四丁目協力会

片山さん

1班の仲町町会エリアを回りました

何でもないと軽視していた歩道の段差で、車いすの車輪が結構引っかかる。重い人を乗せていると、ちょっとした傾斜でも車いすが引張られて操縦が難しいことを実感しました。上り坂は本当に大変です。この地域は坂が多いので、傾斜に関する情報はかなり重要だと思いました。

横山さん

坂が多いことは認識していたが、角度を測ってみて車いす等の通行に支障がある地域だと感じた。大塚公園内は通路が石畳で、車いすで通行する際の上下動を強く感じた、大塚公園のトイレ、みどりの図書館が車いす対応をしつかりおこなっていることに感心した。

東洋大学

片桐さん

文京区は坂が多い街だと感じた。一方向だけでなく、あらゆる方向に傾斜がついていることが多く、少しでも気を抜くと車道に車いすが流れてしまうのが危険だと思った。今回は介助式車いすだったため、介助者の負担についても知ることができた。被介助者の体重によっても負担度合いが異なることに気付けた。

拓殖大学

福富さん

今日街を歩いてみて、町の傾斜の多さが気になりました。自分は今まで車いすに乗ったことがなかったため、普段何気なく歩いていた場所でも、車いすと共に歩いてみることで傾斜の多さ、特に自走式車いすの方からすれば登り、下りのブレーキ等、体力がいると感じました。今後は車いすの方を見つけ次第手助けできるように心がけたいです。

法政大学

村松さん

車いすを押す体験をした事によって車いすを使っている人の気持が分かり、日々困った人がいたら助けてあげようと思った。合理的な配慮が必要。

2班（リーブ・ウィズ・ドリーム：金子一光担当）

大塚上辻町会

山下さん

町内廻って見て、今まで意識していませんでしたが、以外と傾斜がありました。

佐藤さん

普段歩いていると道路の傾斜が大して気にならなかったが、車いすを押してみると結構きつかった。（車いすに乗っていた人が重かったからか??）

当町会は階段が多く、車いすの移動は不便。

伊藤さん

時間がなく一部しか調査できずに残念でした。

荒井さん

車いすの乗りごごちが悪い

拓殖大学

安達さん

階段が多い道や険しい坂道があり、車いすでは通るのが難しいだろうなと感じました。車いすを押してみて、小さな段差も力が必要だとわかりました。

法政大学

宮崎さん

普段、あまり考えずに道を歩いていたので、段差や道の角度を見つけることができないことに気付けました。

3班（リーブ・ウィズ・ドリーム：辻担当）

氷川下町会

伊東さん

①80cm以上あり車いすで通れるのだが中央に点字ブロックがあり通りづらかった。

②平坦な道でも、左右で高さがあることを改めて気付いた。③初めて車いすを体験したが、乗っているのも大変だと感じました

東洋大学

永瀬さん

文京という坂も多い街という特徴もあってか、傾斜を見て移動するのが難しい部分もあると気付かされた。ただ、目で見て「急な坂」と思える場所があっても傾斜計を使って調べると思っていたより角度は小さかったりする所もあった（逆もしかり）。また、平坦に見える道でも右に傾きやすい場所なども中にはあったりするので、実際に車いすを使って歩くことも適宜必要だと気づかされた。まだまだバリアフリーを目指す上で足りない部分はあると改めて感じた。

拓殖大学

岩田さん

今回のバリアフリーマップ作りで初めて車いすに乗った。目線が思っていた以上に低く、地面の凸凹をダイレクトに感じるなど、実際に乗ってみないとわからない感覚を経験できた。また、傾斜は縦よりも横の傾斜が厄介で、車いすが勝手に曲がっていってしまうため、自走で使用している人にはかなりの負担がかかると思った。

法政大学

田所さん

普段は既存地図に書かれたものにチェックをつけるだけの場合が多いのであまり不自由など感じた事がなかったが、白紙の地図にゼロから書き込むというのは初めてでとても大変だった。自分がどこにいるのかの目印もないで難しかった。また千代田区よりも今日探索した場所は住宅地でベンチも見つけることができなかつたので、やはり住宅地などでもバリアフリーを意識した設備は設置が難しいんだと感じた。

大塚四丁目協力会

藤井さん

本日のまち歩きをして、日頃より坂の多さには気付いていたが、実際の角度を見てビックリした。又、車いすに初めて乗ったが、無理だと思った。目線が変わっただけで感じ方がまったく違う事にビックリした。町にバリアフリーの施設が多くある事にも気づかされました。

野村さん

坂が多いとは普段から思っていたけど、車いすで通れないほどの坂が多かった、道路の排水用の勾配に車いすが引っ張られて進めなかつた。自転車が通れないためのやつが意外と広くて通れたので、色々考えて設計されているんだなと思った。

東洋大学

荒巻さん

実際に町をバリアフリーを調査する目線で歩いて見ると、歩きにくさ、使いづらさを感じることが多かつた。車いすでは普段気にならなかつた斜めの道が、こんなにも通りにくいのかと思った。目線が低くなり、曲がり角では見えづらいということも多々あったため、道の角に邪魔になるものを置かないことが必要だと考えた。

拓殖大学

田中さん

車いすの操作が意外と難しい。下り坂は怖いということがわかりました。四丁目に坂道が多く、道幅が狭く車いすでは不便なところが多かつたように思います。少しの段差が大変なことに気がつきました。

大谷さん

想像以上に坂が多く、非常に移動が大変であると感じた。バリアフリー化によって、通ることの出来る道は増えているが、あくまで“可能”というだけであつて、快適にしていくことが求められるのではないかと考える。実際に経験してみることで、日常生活においても視野が広がり、バリアフリーの観点から町をみることができるようにはなつたと思う。

5班（リーブ・ウィズ・ドリーム：金子担当）

氷川下町会

津田さん

調査範囲が広く時間が足りなかった。2. 調査範囲は坂が多く（2～3°）、車いすでは困難だ 3. 家屋の出口は、傾斜が付いている為、車いすのハンドルが取られる。注意が必要。

新谷さん

今回初めてバリアフリーマップに参加してみて、普段歩いていても何も不便に感じないような場所でも、バリアフリーの視点で歩いてみると、段差や傾斜など、不便なだけでなく、非常に危険な箇所が多かった。また、車いすに乗ってみて、自分の体重を支えるだけでも大変なのに、坂や狭い道は、車いすに乗っているととても怖かった。

西潟さん

・傾斜の個人的感覚と実測値に差があった。・歩道のガードレールの切れ目（搬入口・出入口）の傾斜で道路に飛び出しそうになる。・車いすの操作は難しい。

成瀬さん

見るところが多く時間が足りないと思った。坂が多く、かつ車道から歩道に入る境が10° 越えるところも多かったので自走式では補助なしでは難しいと感じた。車いすを押すがわも気を付けてないとつまづいてしまうと思った。また、オシャレな店も多い地域で行ってみたいと思ったけだ、階段があるところもあったので、車いすだと、お店の人が手伝わないと入れないところも多いと思った。

梁島さん

今日の講習会では、車いすを自分で操作して、くだりの時は補助がないと自分で自由に運転できないことがありました。また、段差があるところではぶつかったりして自分で車いすから落ちる可能性がありました。

丸山町会

小田巻さん

坂の傾斜角度は実感とかなり違う。車いすでの移動は大変。段差の危険は大。歩道幅の狭さを実感しました。視点の違いで世界が変わる実感あり。

林町町会

車いす自走を初めて体験しました。あせだくになりました。歩道の勾配に苦心して、その場でコツを教えて頂けたので今後に生かしたいと思います。

ありがとうございました。

班・氏名未記載

車いすはなれていないのでおりた時はかたがこった様な感じでした。若い方の力をかりて歩くことが出来ました。ありがとうございます。

令和6年度
「防災・バリアフリーマップを作ろう」
第4回講習会振り返り

日時：令和6年12月7日午前10時～正午

会場：大塚地域活動センター2F会議室

特定非営利活動法人リーブ・ウィズ・ドリーム



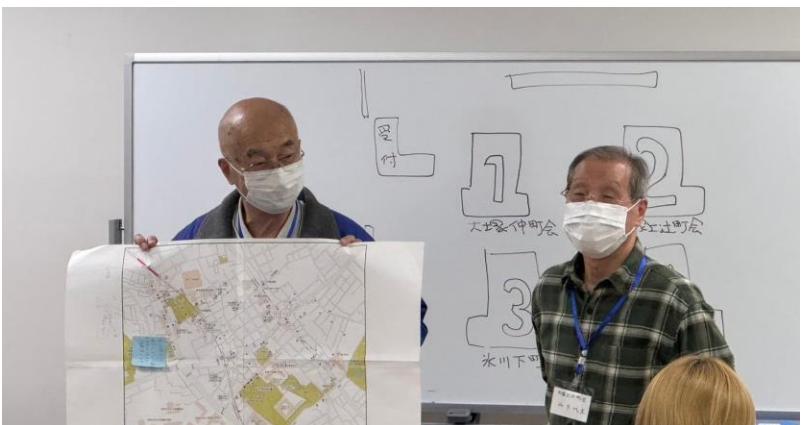
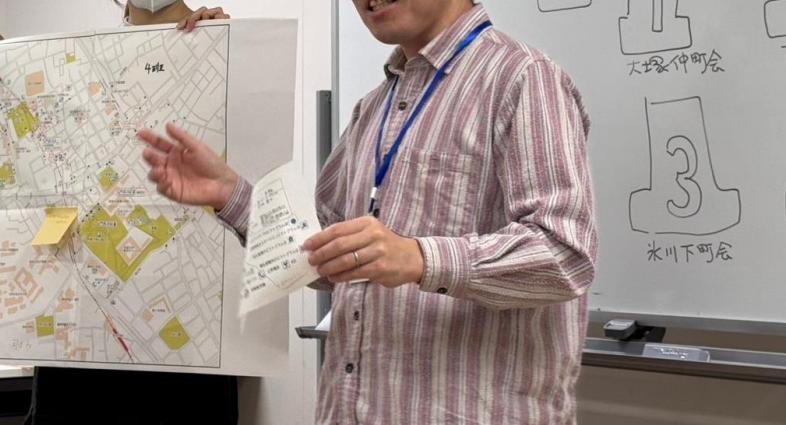
地図情報の校正とピクトグラムの検討

普段から歩いているまちの情報を地図に追加したり、間違った情報を修正する作業を精力的におこなっていました。

地図に掲載されている情報がわかりやすく伝わるようにするにはどうすれば良いか検討しました。



地図裏面に掲載する情報の検討



1回目～3回目の講習会を振り返り、町会ごとに発表をおこないました。

振り返り

- ・ 大塚四丁目協力会 藤井一郎さん

今回、4回にわたり防災・バリアフリーマップ作りに関わり、たいへん良かったと思います。いつも歩いていても気付かない点に多く気付く事が出来ました。出来上がった物を、どう町会員 と共に使えるかを考えたいと思っています。データを頂き、全世帯に配布できればと思っています。ありがとうございました。

- ・大塚四丁目協力会 長嶋優芽さん

今回バリアフリーマップ作成に初めて参加させて頂きました。今までバリアフリーマップを詳しく見る機会がなかったのですが、今回バリア フリーマップを見て、坂の勾配の向きについてや、何cmの段差があるかなど、本当に細かい内容まで詳しく書いてあることを知りました。

今回バリアフリーマップ作成に参加させていただき、改めて自分自身防災に目を向ける貴重な機会となりました。本日はありがとうございました。

- ・大塚四丁目協力会 片山貴裕

まずは自分たちの目線で感じた事を色々アウトプットしましたが、各班の発表を聞いて、狭い地域でも多様な環境やニーズがあることを実感しました。これからは外国人も増えるでしょうから、そういう方たちとの助け合いも重要になるのかもしれません。

- ・大塚四丁目協力会 寺島結奈

今回バリアフリーマップ作成に初参加で、手伝えることと、役に立てることは少なかったけど、地域の方1人1人が他の人を思いやって懸命に話し合いをしている姿に感動しました。短い時間でしたが、濃い内容でとても良い経験になりました。私の地元の群馬ではこういった集まりがないので新鮮でいたし、画期的で新しいと思いました。次も参加出来る機会があればぜひ参加したいと思います。

- ・大塚四丁目協力会

防災マップをもじアプリで作る機会があった場合には、利用者側が自分に必要な情報を設定画面から選べたらいいなと思った。道のみぞを書き足したこととは車いすが自力で進めないくらい溝が深かったので再調査してほしい。それと、曲がりながら坂がある所も調べたときにアプリに不調があった可能性があるので傾斜も調べ直した方がいいかもしれない、全回を通して私が写っている写真は内部で保存するのは大丈夫ですけどネットとか地図とか外部の人が見れる所には使わないで欲しいです。

・氷川下町会 伊東美幸さん

①町会の場所(地図上の高低)により防災に対する視点(水害・火災・地震)が違うことが、改めて感じた。

②防災設備の使い方などはわかりやすく説明できたらと思う。

・氷川下町会 清水弘子さん

他の町会の人達の自分の町会にもっと他の町会用に(マップ)考えて作っていけたら良いとの話を

・氷川下町会 マルエヒロユキさん

どうしても防災の視点が多くなってしまった。”住みやすさ”という点では、バリアフリーの視点も重要だったかな。20年後の自分のために。

氷川下町会 津田正博さん

多くの話が有り、本当にそうだと思うことがあります。資料をまとめるのが大変とおもわれますが、簡易でわかりやすい、防災マップになると良いです。

・大塚仲町町会 井口雄一さん

まち歩きで見ることに。注意してみると、たくさん見えてきました。今回のイベントは、期待以上に良かったです。車いすの体験もありました。

・大塚上辻町会 足立一秀さん

周辺のガケの注意が気になる。

・大塚上辻町会 佐藤大作さん

①我が町会の危険箇所を把握し、防災について最大限の配慮を行う

②町会員と共有する

③地図に易く表示する

・大塚上辻町会 伊藤明子さん

自分の住んでいる地域に対して、改めて、危ない場所が多い事に気付きました。

・大塚上辻町会 山下代文さん

なんかいも出席してますので、思い浮かばずです。

・大塚上辻町会 平田雄悟さん

今回、地図情報の確認や話し合いをした大塚上辻町会は高い地域となっていて、崖や突風など独特な悩みがあり、自分の地域とは全く異なるという点で興味深く感じた。

・丸山町会 小田巻善雄さん

他地域から参加させて頂きありがとうございました。

・実際に歩いて初めて気がつくことがたくさんありました。

・この地域は過去に大災害を経験していない事。故に安全な地域との”バイアス”を住民に意識して頂く事は重要だと思いました。

・林町町会(民生委員) 塚田明子さん

日頃知り合う機会の少ない方と一緒に活動が出来、大変よい経験になりました。有り難うございました。

実際に顔を合わせてお声を聞けることが何よりです。またこのような機会がありましたら参加させて頂きたく宜しくお願い致します。

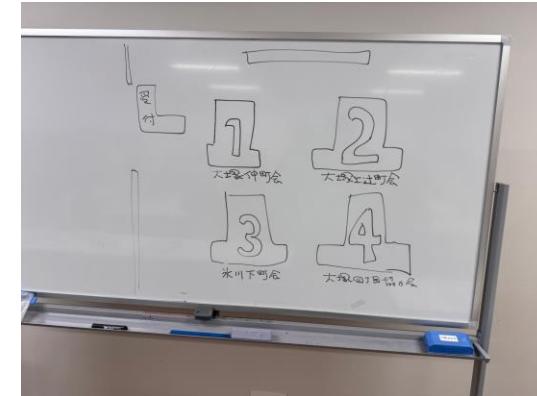
スタッフの皆さん、ありがとうございます。

・法政大学 宮野華さん

水害、突風が起こりやすい、坂道や階段が多いなどその地域に住んでいるから分かる地域性を知ることができた。どのピクトグラムが必要か、不需要か、裏面に載せる情報はどうするのかなど実際にバリアフリーマップに載せることについて議論したことが今回が初めてであったため、とても貴重な経験になりました。

どうしたらより分かりやすいマップになるのか、これからも考えながら活動に参加したいと思います。

講習会に参加した4町会それぞれが自町会の特性を再認識し、他町会の特性を理解することができた場となりました。



参加された皆さんにスタッフ一同感謝します。

地図贈呈 & 防災ポーチ作り

日時: 令和7年2月9日(日)
午前の部 10:30 ~ 1:30
午後の部 13:30 ~ 15:00
会場: 氷川下つゆくさ荘



完成した地図を町
会にお渡しました。

防災ポーチ作り

- 防災ポーチとは、どんな物を入れると良いか等の説明を聞いた後に防災ポーチ作りをおこないました。



出来上がった防災ポーチ

グループワーク: 防災ポーチに入れる物を考えてみよう

- 日常持ち歩くのに負担にならず、自分に必要なものには何かを考えて発表しました。常備薬を持つのも良いが、薬のラベルだけとりあえず持つのも軽くていい、手ぬぐいは万能に使える等様々な意見が出ました。



振り返り 午前の部

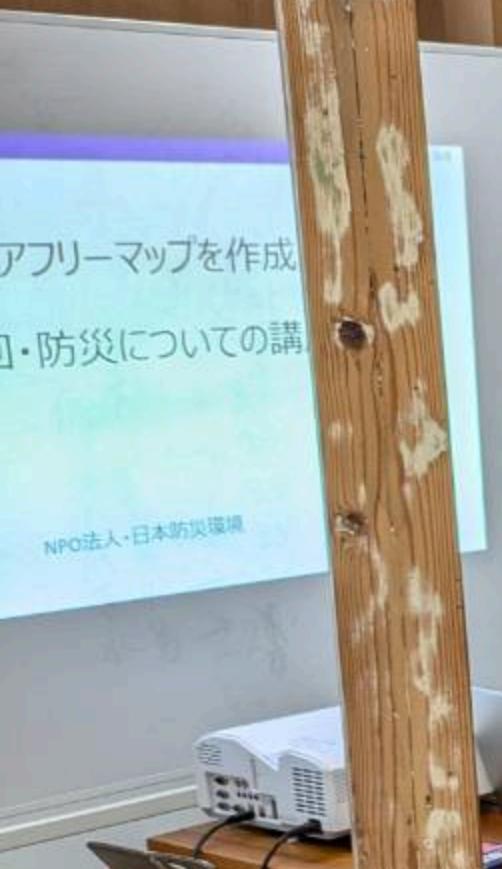
- ・防災ポーチを常時持ち歩く為に必要最小限のものを考えておく事。より多くの候補を選んでおく。ためになりました。(大塚上辻町会 佐藤大作様)
- ・日常の持ち物のチェック(大塚上辻町会 足立一秀様)
- ・いろいろ防災について教えて頂きありがとうございます。(大塚上辻町会 山下代文様)
- ・進行スムーズで、内容もよくわかり大変ためになりました。(大塚上辻町会 荒井正明様)
- ・防災ポーチに入れる物を家族で考えてみたいと思います。(大塚上辻町会 伊藤明子様)
- ・自分の負担感が重くならないような携帯用品の持ち方について考える良い機会となりました。普段からカバンのポケットに携帯しているものはあるのですが、それに加えてもいいかな、どうしようかな?と検討したくなるものがいくつかありました。多少メンテナンスはしないといけないですね…面倒臭がりの私には少しハードルがありますが、無理のない程度に努力します。(大塚四丁目協力会 片山貴裕様)
- ・今回は防災ポーチを作らせてもらいましたが、今までこの様な物を持ち歩く事を考えていました。教えて頂き、必要であると感じました。もう一度考えて用意したいと思いました。又、バリアフリーマップ、ありがとうございました。町内の方々と共有出来るように考えたいと思います。(大塚四丁目協力会 藤井一郎様)

振り返り 午後の部

- ・防災ポーチ大変参考になりました。防災・バリアフリーマップ、活用させて頂きます。作成お疲れさまでした。(氷川下町会 渡辺様)
- ・満載すぎました。これまで怖い思いもせずにこられた事を幸いに感じます。いろいろな意見を耳に聞けた事は良かったと思います。(氷川下町会 鈴木章子様)
- ・たのしい一時でした。又あった時は来ます。(氷川下町会 江沢静男様)
- ・防災マップ、皆で現地調査された記録より詳細に作成されています。関係様にはお疲れさまです。防災ポーチ参考になりました。(氷川下町会 津田正博様)
- ・地域住民と協働の作業が良い。マップ完成後の効果が楽しみです。(丸山町会 小田巻様)
- ・手ぬぐいはあるので入れておきたい。テープとかラップがあれば怪我をしても何とかなるかもと思った、ヘルプカードがあればいいなと思った。(一般参加 野村まゆ様)









YIKAWASHITA
永川下町会









多目的収納





